

「きのこ」とは摩訶不思議な物なり

大 蔦 満

国内外を問わず、旅行中耳はガイドの声を聞いてはいるけど、目は何故か「きのこ」を追い求めているようです。

1995年、建国50周年の国慶節を目前にした中秋節を、中国の友人、張 召堂氏の案内で、亡き相京氏も同行し、青島見物と楽しみました。その折に、棧橋公園の対岸に赤い帽子を被った3本の「キノコ型」の建物に目が釘付け。何？ あれは？

「…多分ホテルです」。張氏の返事に次の観光地、泰山に向かいました。

相京氏を事前に紹介した際に、彼が「日本百名山」を登頂した事を伝えておきました。中国には日本の富士山同様、信仰にもなっている有名な泰山があります。しかし泰山に行ってみると、そこは美しい松が何処までも続いており、駐車場から先の登頂を止めにして、松林での「きのこ狩り」に転じてしまった相京氏に、張さんは苦笑い。結果はイグチの仲間を1本ゲット（外観はマツタケにそっくり！）しただけでしたが。

2007年9月に再度、青島に行く機会にめぐまれ、12年前に見た3本の赤い「きのこ型」をした建物が気になっていましたが、偶然にもホテルから徒歩で行ける事が分かり、張さんの案内で行って来ました。

その建物は信号山公園の頂上にあり、1番大きくて背の高い建物が展望台、2番目がレストラン、3番目は閉鎖されておりました。その展望台から見渡す青島の景観は素晴らしく、またこの信号山は松で覆われているので、



画面右、遠くの山の上にキノコ物件が

時節が合えば「きのこ」の発生が見られたかも知れませんが、でも生憎とその時は「きのこ」には出会えませんでした。結婚式を挙げたばかりの新婚さんが親族や大勢の友人達と一緒に信号山公園で記念写真を撮っている場面に遭遇しました。

「中国」、「青島」、「信号山」でネット検索すると、日本語のサイトでも「きのこ型」の建物の写真が添えられた記事がヒットすると思いますので、興味のある方は検索してみてください。